

第42回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：令和元年 5 月 14 日(火)16:00～17:00
- 場所：中央合同庁舎 8 号館 10 階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ:「名刺」x「AI」によるイノベーションの創出
- 招へい者:常楽 諭(じょうらく さとる) Sansan 株式会社取締役・共同創業者
田中 陽(たなか よう) Sansan 株式会社取締役・経営管理部長
- 出席者: 平井国務大臣、幸田内閣府審議官、柴崎参事官(IT)、高田企画官(IT)、
三木CIO補佐官(IT)、佐藤審議官(科技)、石井企画官(科技)、伊藤補佐(科技)、
奥山補佐(宇宙)、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 常楽氏及び田中氏からの説明

- 日本には労働人口の減少、ビジネスマンの生産性の低さ、デジタル化の遅れという 3 つの課題がある。これら社会問題をソリューションで解決し、日本を更に活発にイノベーションの溢れる国にできると信じて、「出会いからイノベーションを生み出す」というミッションに取り組んでいる。
- 名刺にはその人を表す重要な情報が記載されており、ビジネスにおいては非常に重要な役割を果たしている。名刺の情報をデジタル化することによって、会社・組織にとっても価値ある資産に変えることができる。個人だけではなく会社・組織の中で人脈を共有して行く事により、業務効率化できるだけでなく、新しい事業やイノベーションの機会が生まれてくる。
- 当社のサービスの肝となるのは、データ化の正確性にある。名刺のデータは、AI と人力の組み合わせで正確にデータ化している。当社は名刺情報といった大切な個人情報をお預かり集積しているので、その取り扱いには十分な注意を払っている。他社に先駆けて CISO を設置し、全社員に個人情報保護士に資格所得の義務化をすることにより、安心して利用いただいている。
- 当社には、日本を AI の最先端の国にしたいという想いがある。アメリカや中国から大きく後れを取っているので、次世代の研究者やエンジニアと交流して底上げしていきたいが、一社だけで、この取り組みを行うのには限界がある。産業界と大学側に十分な接点がないので、行政からも御支援いただけるとありがたい。

3. 質疑応答・議論

- 名刺の画像データは重要で、名刺上の文字だけでは思い出せないが、その画像を見ることによって相手方を思い出すことことがある。名刺には色々なデザインや文字があるが、一番ビジネスに役立つ名刺を AI 等で分析し、デザインも含めて提案できるのでないかという意見があった。
- Sansan は、人と会社の出会い方も変えていきたい。例えばその人がどういうキャリアを歩んで来たのかは、蓄積した名刺情報を分析蓄積していくことで分かる。これまでの職歴と名刺交換等のデータを分析して、その人に合った企業をマッチングすることによって、眠っている人材を最適なポジションに配置することも、出会いのデータベース化で実現できるのではないかという意見があった。
- 地方の活性化するにあたり、地方で伸びている企業をオープンイノベーションという形で、異業種や地域を超えて繋げる事が、できるのでないかという意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)